

● ご利用イメージ

事務所にいても外出先にも、スマホアプリで固定電話が発信・着信可能
固定電話機とスマホが常に同時に鳴るため、転送先の切替操作も一切不要
最大でスマホ5台と固定電話機2台が使用可能！



● 豊富な標準機能

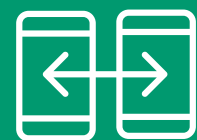
テレワープには以下の電話機能が標準で搭載されています。



ナカヨひかり電話発信・着信機能

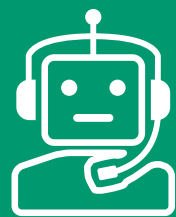
- スマホアプリでナカヨひかり電話の電話番号(最大5番号)を発信・着信可能 ※
- スマホへの着信転送にかかる通話料は一切なし
- スマホアプリから発信した場合は、ナカヨひかり電話の通話料金が適用される

※ナカヨひかり電話の電話番号が複数ある場合、スマホアプリ上で発信・着信する番号を任意選択可能。但し、発信番号は1番号のみ選択可。
※110、119などの緊急電話に代表される3桁番号への発信は不可。



内線通話・保留転送機能

- スマホ同士または固定電話機とスマホ間で内線通話が可能
- 内線通話にかかる通話料は一切なし
- スマホまたは固定電話機で受けた電話を他の内線へと保留転送できる



自動応答機能

- 営業時間外に自動応答する「時間外案内機能」と、不在時に一時的に自動応答する「不在案内機能」が利用可能
- 自動応答時は呼び出すことなく、ガイダンスに切り替わる
- 自動応答ガイダンスはオリジナルのメッセージを再生できる



留守番電話機能

- スマホアプリから留守番電話のON/OFFや呼び出し時間を設定できる
- スマホアプリから録音された留守番メッセージを確認可能
- 留守番電話のガイダンスはオリジナルのメッセージを再生できる

● 導入事例



事例1:接骨院 (治療院・東京都)

コストカットと利便性向上を実現

導入前

- 電話転送サービスで、院外にいるときは患者様からの予約電話は携帯に転送していたが、通話料が結構負担になっていた。
- 転送電話だと院宛か自身のスマホ宛かが判別できない。

導入後

- 転送通話料が一切かからず、大幅にコストカットできた。
- 院宛かスマホ宛かが判別でき、スマホから院の電話番号で発信できるため、患者様の応答率が大きく向上した。



事例2:税理士事務所 (士業・東京都)

スタッフ増員に柔軟に対応

導入前

- 顧客増加に伴いスタッフ増員したが、電話環境が追いついておらず、手軽な電話サービスを探していた。
- 外出機会が多いため、スマホでも電話応対できるようにしたかった。

導入後

- スタッフ個人のスマホだけで事務所の電話対応体制を簡単に構築。
- 業務に必要な機能が全て備わり、テレワープだけで完結。



事例3:和食料理店 (飲食店・広島県)

予約電話の取りこぼしを削減

導入前

- 電話転送サービスで、定休日や仕入中にかかってきた予約は携帯電話に転送していたが、設定操作が面倒で使わなくなっていた。
- 転送を止めてからは予約を取りこぼしてしまっていた。

導入後

- 面倒な転送設定が要らないので、電話転送よりも使いやすくなり、スマホからお店の番号ですぐ折り返しできるので、予約電話を取りこぼすことがなくなった。

✓ その他にも様々な業種の企業様に導入いただいています



医院・クリニック



タクシー・
運送業者



不動産



個人事業主



お寺・神社



サービス業